

今月の
症例

ホームページ掲載版では、症例提示を非公開としています。



Osaka Medical College
Cardiology

- 大阪医科大学附属病院 循環器内科ではお困りの症例の電話による相談窓口を開設させていただいております。

当院のスタッフ(循環器専門医)が、緊急症例の受け入れに限らず、外来受診の予約など幅広く対応させていただきますのでご利用ください。

24時間対応させていただきます

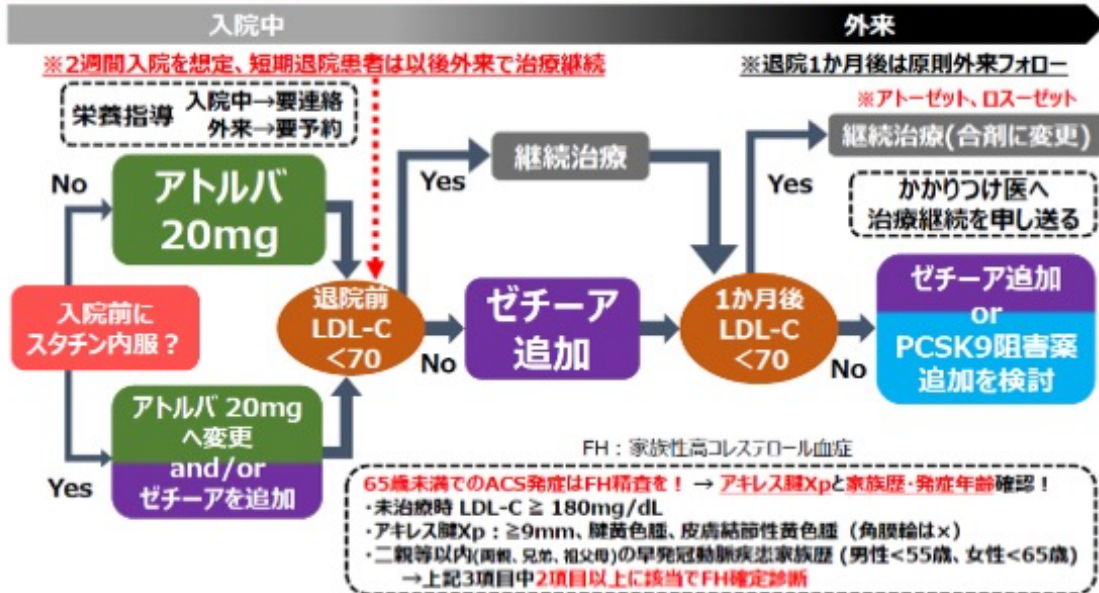


脂質低下療法強化フローを改訂いたしました

大阪医科大学における脂質低下療法強化フロー(改訂版)

急性冠症候群症例(AMI/UAP)

・LDL-C<70mg/dLを治療目標値として下記のプロトコルで治療を行う
 ・発症前LDL-Cによらず、不割例を除く全例にスタチンを導入する
 ※透析患者、生命予後不良の患者については各担当医の裁量で判断



昨年当科にて脂質低下療法強化フローを作成しました。2018年5月～2019年4月に当科でACSに対してPCI施行し、生存退院した117症例について調査しましたところ、退院時スタチン導入率は92%、1か月後外来フォロー率は82%、外来での介入(LDL-C>70に対し)は17%でした。退院後の治療強化が十分に行われていないという現状を受け、初期用量から「高強度」の用量であるアトルバスタチン10mg2錠に設定することにいたしました。

また今後原則として、当科退院1か月後に当科外来を受診していただき、LDL-Cをチェックすることとしました。退院後の経過をみていただく先生方におかれましては、

- ①ACS後で、二次予防としてLDL-C<70mg/dLの管理が望ましいこと
 - ②治療目標を達成できない場合の対応(エゼチミブ追加をお願いします)
 - ③重篤な有害事象のない限り、スタチンを極力継続いただきたいこと
- に関しまして、再度認識していただきますようよろしくお願いいたします。

後記

the editor's notes

平素より、ホットラインを含め皆様から多数のご紹介をいただき、まことにありがとうございます。非常に暑い日が続いている影響で虚血性心疾患の緊急入院症例が増加しています。引き続き地域の皆様のお役にたてるよう、当科スタッフ一同尽力して患者さんの受け入れ体制の維持に努めて参ります。今後もより緊密な病診・病病連携をめざして参りますので、ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。

冠動脈CT専門外来
FAX予約受付中

お問い合わせ先
医療連携室: TEL 072-684-6338